



## エデンレッドジャパン、「チケットレストラン」の電子化を加速し、食事補助ソリューションの利便性向上へ

2020年9月までに電子カードタイプへの移行を完了し、健康経営の支援ツールとして導入企業・従業員・加盟店などすべてのユーザーにメリットを提供

福利厚生の食事補助ソリューション「Ticket Restaurant®（チケットレストラン）」を提供する株式会社エデンレッドジャパン（所在地: 東京都千代田区、代表取締役: マリック・ルマーヌ）は、2018年11月9日、日本における食事補助ソリューションの完全電子化移行計画（以下、本計画）を発表しました。本計画により、30年来提供してきた紙の食事券の発行を2020年9月をもって終了し、同年10月以降は電子カードタイプ「Ticket Restaurant® Touch（チケットレストランタッチ）」に完全に移行します。また、電子カードタイプへの完全移行にともない、導入企業および加盟店向けの移行促進の各種キャンペーンについても随時実施予定と発表しました。

昨今の経済のグローバル化により、あらゆる決済の電子化が加速しています。2018年4月に経済産業省が発表したキャッシュレス・ビジョンには、「2025年の大阪・関西万博に向けて国内の決済の40%のキャッシュレス化を前倒しし、将来的には80%を目指していく」とあります（注1）。増加傾向のインバウンド経済に直面する外食産業や小売業界では、2019年や2020年に国際的なスポーツイベントを控えており、さらなる電子化が必要という共通認識が高まりつつあります。このようにキャッシュレス決済の普及が予想されることから、当社ではチケットレストランの電子カードタイプへの完全移行の時期を慎重に検討してきました。

電子カードタイプのチケットレストランタッチは、2016年5月の発表以降、企業への提案を順次進めており、利用可能店舗数は58,000にのぼります。導入企業にとっては「月次の処理や変更管理がしやすい」、従業員にとっては「名刺サイズ一枚でコンパクト」「一円単位で決済でき、残高をいつでもスマホアプリで確認できる」、加盟店にとっては「他の電子決済カードと扱いがほぼ同じ」「月次の書類業務が減った」など、従来の紙の食事券と比較してのメリットを感じていただいています。導入企業数や利用者数も順調に伸び、利用満足度も高いことから、チケットレストランの電子カードタイプへの完全移行を決定しました。今後約2年をかけて2020年9月までに移行を完了し、この間にシステムやユーザーサポートの強化など、当社の経営資源の適正化を行い、より利便性の高い食事補助ソリューションとして改善を進めていきます。

働き方改革や、健康経営など、はたらく人の健康や労働生産性について注目が集まるなか、「企業が福利厚生の一環として従業員の就労時間の食費を一部負担する」「企業の補助により、従業員の健康的な食事への意識が高まる」「昼休みに適切な食事と休息をとることで、午後の労働生産性が高まる」などの好循環により実現する従業員の食事のあり方は、人口減少や少子高齢化が進む国内企業の成長を左右する大きな要因として注目されています。ヨーロッパ諸国では、食事補助を行うことで「昼食摂取回数の増加」「労働生産性の向上」「職場の雰囲気改善」「プレゼンティーズム（就業中で業務に集中できていない状態）に起因する費用や時間面の損失の軽減」を実現しています。より効果的な食事補助を実現する為に、当社は電子カードタイプへの完全移行は不可欠と考え、今回の発表に至りました。

また、チケットレストランの電子カードタイプへの完全移行は、紙資源削減による地球温暖化への取り組みの一部でもあります。今回の完全移行により、最大で年間約 10 万立方メートルの木材に相当する約 30 トンの紙の利用の削減を実現します（注 2）。

紙の食事券は、1987 年の発表以来、30 年以上にわたって企業の周辺の飲食店を社員食堂のように利用可能にする福利厚生のひとつとして、累計 2,000 社以上、10 万人以上に活用されてきました。食事補助の意義は紙から電子に移行しても不変です。当社は、既存の紙の食事券利用企業や飲食店がスムーズに電子カードタイプへの移行を実現できるよう、移行促進の各種キャンペーンを企業と加盟店の双方に対して提案し、食事補助ソリューションによるさらなる「健康経営」「働き方改革」実現に向けた支援を継続していきます。

注 1：経済産業省、「キャッシュレス・ビジョン」「クレジットカードデータ利用に係る API ガイドライン」を策定しました、<http://www.meti.go.jp/press/2018/04/20180411001/20180411001.html>

「キャッシュレス・ビジョン」pdf 67 ページ

<http://www.meti.go.jp/press/2018/04/20180411001/20180411001-1.pdf#page=68>

（2018 年 10 月 30 日現在）

注 2：農林水産省 林野庁、プレスリリース「平成 29 年木材需給表」の公表について、

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kikaku/180928.html>

「平成 29 年木材需給表」pdf 1 ページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kikaku/attach/pdf/180928-1.pdf#page=3>

（2018 年 10 月 30 日現在）

---

### 【エデンレッドジャパンについて】

株式会社エデンレッドジャパン（旧バークレーヴァウチャーズ）は、日本における食事補助ソリューション「チケットレストラン（Ticket Restaurant®）」のパイオニア、およびマーケットリーダーで、エデンレッド（Edenred）の 100%子会社です。エデンレッドは、企業、従業員、店舗向けトランザクションソリューションの世界的リーダーです。カード、モバイルアプリ、オンラインプラットフォーム、紙のヴァウチャーのいずれを提供する場合も、これらのソリューションはすべて、従業員の購買力向上、企業の経費管理最適化、店舗の付加価値ビジネス向上を意味します。グループは、77 万社の企業・公共団体において 4,400 万人の会社員と 150 万店の店舗をつなぐ特有のネットワークを築いています。

NYSE ユーロネクスト・パリ証券取引所に上場しており、日本を含む世界 45 개국で約 8,000 人の従業員を擁し事業を展開しています。2017 年度グループ納品額は 260 億ユーロで、その 78%は、カード、モバイルアプリ、およびウェブソリューションによる取引によるものです。

本リリース内のロゴや商品名につきましては、すべて Edenred 社とその子会社の登録商標です。

URL: <https://www.edenred.jp>

チケットレストランサイト: <https://www.ticketrestaurant.jp>

公式 facebook アカウント: [www.facebook.com/TicketRestaurantJapan](http://www.facebook.com/TicketRestaurantJapan)

公式 Twitter アカウント: @Ticket\_RestJP

---

### 【本件に関する報道関係者のお問合せ先】

株式会社エデンレッドジャパン

マーケティング&コミュニケーション部

TEL: 03-3233-8151 Email: [erjp-pr@edenred.com](mailto:erjp-pr@edenred.com)

